



©UNICEF/UNI862833/Mulata

ルアラバ州で暮らす16歳のアストリッドさん。家計のために学校をやめて鉱山で働いていたが、職業訓練で溶接工の技術を身に着けた。(コンゴ共和国、2025年8月12日撮影)

## 特集 / 子どもの貧困は、低・中所得国で4億人超 5人に1人以上が栄養や衛生など最低限のニーズも満たせず

昨年11月に発表されたユニセフ「世界子供白書2025」(以下、報告書)によると、低・中所得国の子どもの5人に1人以上に当たる4億1,700万人が栄養や衛生など最低限のニーズも満たせない深刻な状態にあります。世界的な資金削減、紛争、気候変動により、さらに多くの子どもが貧困に陥るリスクがあると警鐘を鳴らしています。

報告書は、130を超える低・中所得国のデータに基づき、教育・健康・住宅・栄養・衛生・水の6分野における剥奪を分析することで、多次元貧困の広がりを明らかにしています。

子どもの多次元貧困はサハラ以南アフリカと南アジアに集中しています。衛生環境の剥奪は最も広範に見られ、低所得国では65%の子どもがトイレを利用できません。適切な衛生環境の欠如は、子どもたちの疾病リスクを高めます。

食料・教育・保険医療サービスへのアクセスを妨げる金銭的貧困についても報告書は分析しています。最新のデータによれば、世界中の子どものうち19%超が1日3米ドル未満で生活する極度の金銭的貧困状態

にあります。

報告書は、子どもの貧困をなくすことは実現可能であると強調し、子どもの権利条約にうたわれているとおり、子どもの権利を、貧困削減のためのあらゆる政府戦略・政策・行動の中心に据えることの重要性を訴えています。

今回の報告書は、世界中の多くの政府が対外援助を縮小している時期に発表されました。しかし、今は支援を後退すべき時ではありません。子どもへの支援は、すべての人々にとってより健康的で平和な世界をもたらします。

### 県内の企業・団体の皆様へ… 企業寄付や ユニセフ募金箱の設置もご相談ください

「周年事業や事業継承を機に寄付したい」「店頭・オフィスに募金箱を設置したい」「イベントで募金活動に取り組みたい」  
— “企業の規模や性格に合った支援”  
を一緒に考えてみませんか。神奈川県ユニセフ協会までお気軽にご相談ください。



ガーナ  
レポート

## Meet Ghana

## ユニセフ・ガーナ事務所

## 吉川美帆さんによるガーナ現地報告会

神奈川県ユニセフ協会では、2024年から2028年まで5年間、「ガーナの児童婚を終わらせる指定募金」に取り組んでいます。募金活動が3年目となるにあたり、ユニセフ・ガーナ事務所で「子どもの保護専門官」をされている吉川美帆さんより、ガーナでの活動の様子や、この間の成果や課題についてご報告をいただく機会を設けました。（事務局の責任で、要旨を紹介します。）

日時：2026年1月30日（金）18:00～19:30（日本時間）

開催方法：オンラインによる開催

参加者：35人



## 吉川 美帆さん

ユニセフ・ガーナ事務所 子どもの保護専門官

2021年5月よりユニセフ・ガーナ事務所の子どもの保護専門官（有害な慣習、ジェンダー、青少年支援）として勤務。児童婚の予防や対策の分野を主導し、UNICEF-UNFPAが進める児童婚を終わらせるためのグローバルプログラムのガーナ担当者を務める。

## 1. ガーナの児童婚の現状

まず、ガーナの児童婚の現状です。16.1%の女性が18歳になる前に結婚もしくは事実婚を経験しており、3.3%の女性が15歳になる前に結婚もしくは事実婚を経験しています（2022年のデータ）。

この二つの指標というのは世界的に使われているものです。基本的には18歳未満という指標で見えていきますが、なぜ15歳未満の指標が大事かというと、15歳より前に結婚させられているということは、本当に小さい女の子たちが結婚させられているということです。なので、より事態の深刻さを見るという意味では、15歳になる前の児童婚率をしっかりと確認するというのが大事になってきます。

## 2. 児童婚の要因

児童婚の要因としては、まずは貧困です。経済的困難に直面する家庭では、娘さんを早期に結婚させることで経済的負担を軽減しようとする傾向があります。

次に、教育、特に性教育及び就業機会の欠如が、特に思春期の女の子にとって児童婚の大きなリスク要因となっています。

また、出生登録がなく、年齢が正確に把握されてい



ないことが児童婚のリスクを高めることもあります。ガーナの出生登録の割合は現在77%です。77%はそんなに低くない

のではないかとされるかもしれませんが、2割以上の子どもが出生登録されていないということです。これについては、かなり心配している状況です。

それから有害な伝統的慣習や、紛争や災害などにより住居や生計手段を奪われてしまう状況も児童婚のリスクを高めます。

## 3. 指定募金の使われ方

指定募金は2つのプログラムで使用されます。

(1) 特に脆弱な思春期の少女（10～19歳）のエンパワメント（社会的地位の向上と能力強化）を実現するために集中的な支援を行うプログラムです。

少女たちが安全だと感じる場所において、年齢別に少女たちを2つのグループに分けて（10～14歳及び15～19歳）、最低8か月の間ライフスキルや性教育を学ぶというものです（「PASS」モデル）。

例えば、親御さんが、「あなたもそろそろ15歳になったんだから結婚しなさい」と言われた時に、自分は結婚したくない、自分は学校に通い続けたい、自分は学校には通えないけれど仕事のスキルを学びたいといったことを自分で声を上げていく。そのための知識やスキルを身に付けてもらいます。

(2) 2つ目は、家族、伝統的・宗教的指導者、コミュニティに住む人々を対象にした啓発活動を行うプログラムです。

子どもの保護のための「ツールキット」（イラストカードとマニュアルのセット）を用い、児童婚の有害性や女の子の教育の重要性を伝える啓発活動を実施すること

で、女の子が学校に入学し、終了まで通い続けられるようにするというものです。

女の子のサポートをしてるだけで周りの意識が変わらないと、女の子がどんなに頑張っても、変えられないことはとても多いのです。なので、女の子の親御さん、家族や伝統的・宗教指導者さんを対象に児童婚の有害性や女の子の教育の重要性を伝える啓発活動を実施しています。

#### 4. 現地での研修プログラム実施の様子

現地での研修プログラム実施の様子を紹介します。



〈写真①〉

©UNICEF/2024/WCHOI

〈写真①〉は30人弱の女の子たちが集まって、ファシリテーターさんと一緒に話しているところです。



〈写真②〉

©UNICEF/2025/NORSAAC

〈写真②〉の壁に貼ってあるポスターには「No Child Marriage」と書いてあります。女の子が妊娠してしまって、お母さんから結婚しなさいと言われているのに対して、「NO」ってちゃんと言えるようになろうって書いてあるイラストです。この女の子たちが自分で書いた絵を、コミュニティの見やすいところに貼って、自分たちはこういう意見を持っているんだっていうことをコミュニティに対して発信しています。

次に、コミュニティの方々を対象にしたプログラムの様子です。

〈写真③〉は、実際のコミュニティの方たちとの話し合いの様子です。子どもたちに比べて人数が多く、60人前後だと思えます。個別対応が必要な場合には、ファシリテーターが後から家庭訪問やフォローアップをしています。



〈写真③〉

©UNICEF/2025/DCD

〈写真④〉にあるように、一方的に話を聞く授業にならないように、代わる代わるディスカッションしてかなり楽しいセッションになっています。



〈写真④〉

©UNICEF/2025/DCD/ER

#### 5. この間の取り組みの成果や課題など

課題として大きいのは世界的な対外援助の削減です。ユニセフとしてはいかに効率のよい支援を行っていくのかという視点で、戦略やアプローチの変更を進めてきました。

今現在のプロジェクトの進捗状況です。1,230人の10歳から19歳の思春期の女の子たちがライフスキルや性教育のセッションを開始し、今年の9月までに完了する予定です。

また、去年、2025年に、ツールキットの改定を実施しました。その改訂版を元に、7,200名の親・保護者・コミュニティの人々に対する啓発プログラムを開始いたしました。今年の4月末までに完了する予定となっています。

## あなたの寄付でユニセフの活動をサポートしませんか？

### ガーナ指定募金

神奈川県ユニセフ協会では、2024年1月より2028年までの5年間、第5次指定募金として「児童婚を終わらせるためのガーナ指定募金」に取り組みます。

この募金では、児童婚のリスクが高いガーナ北部・東部地域3州で①思春期の女の子たち6,000人へ「安全な空間と能力強化するためのセッション」の提供②思春期の女の子を支援し、男女平等な環境づくりのための「コミュニティへの研修」の実施（30,000人）を支援

します。

みなさまのあたたかいご支援をお願いします。

口座名義 公益財団法人日本ユニセフ協会  
郵便振込口座番号 00190-5-31000  
備考 通信欄に「12254ガーナ子ども保護」と「K1-140」（神奈川県ユニセフ協会コード）を記入して下さい。

## ユニセフ ハンド・イン・ハンド

すべての子どもに生きる希望を！  
～すべての子どもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるように～

2025年のハンド・イン・ハンド募金は、参加者はのべ355名で、前年を大きく上回る皆様にご参加いただき、募金を呼びかけることができました。県内4会場と近隣県合わせて45万円を超える募金が集まり、例年取り組んでいるオンライン募金なども併せ、全体として507,716円の募金をお寄せいただくことができました。毎年、多くの皆様にご協力をいただき感謝申し上げます。

## 川崎会場

12/6 (土) 13:00 ~ 15:00  
JR川崎駅東口



昨年引き続き、副市長に参加いただきました。また渡田中学校と南大師中学校から15名の中学生が参加し、大きな声で元気に呼びかけを行っていただきました。さらに、人気のマスコット2体（ふろん太、ショーブくん）が応援に駆け付け、募金の呼びかけを盛り上げてくれました。

## 横浜会場

12/20 (土) 10:00 ~ 12:00  
13:00 ~ 15:00  
JR桜木町駅前広場



午前中はユーコープ主催の街頭募金活動が行われました。朝から雨の降る中、桜木町駅前ひろばで二手に分かれ、2時間を前

半後半にわけて募金への呼びかけを行いました。午後は県協会主催で駅前広場に5つのポイントにわかれて募金の呼びかけをしました。前年に引き続き横浜市国際局グローバルネットワーク推進部長をはじめ多くの方にご参加いただき、40人近くの子どもたちとともに大きな声で呼びかけを行ってくれました。また、3体のマスコット（マリノスケ、カナガワニ、ハマビィ）が参加し、会場に訪れた子どもたちに大人気でした。

## 相模原会場

12/13 (土) 10:30 ~ 12:30  
小田急相模大野駅北口周辺



募金活動開始時点の気温が5℃と大変寒い中での募金活動となりました。市長並びに教育長にもご参加いただき、またガールスカウト、ボーイスカウトの子どもたち18人が元気に呼びかけてくれました。

## 平塚会場

12/14 (日) 10:00 ~ 12:00  
JR平塚駅北口



神奈川県文化スポーツ観光局グローバル戦略担当部長や平塚市長にもご参加いただきました。また、ガールスカウトと浜岳中学校、江陽中学校から合計29人の子どもたちが参加し、元気に呼びかけを行ってくれました。

## 県外開催（生活協同組合ユーコープ主催）

## 静岡会場

12/6 (土) 11:00 ~ 12:00  
青葉イベント広場



当日は、日は差していましたが気温は低い中、8人の新入職員による元気な声の呼びかけに呼応しながら、全員で道行く方へ声をかけました。

## 山梨会場

12/20 (土) 11:00 ~ 12:00  
甲府駅北口ペDESTリアンデッキ



当日は、付近で「こうふ開府の日」というイベントが開催されていたこともあり、例年よりも多くの通行者がいました。組合員のお子様も参加して一生懸命に声をかけてくれたこともあり、多くの方が足を止めて募金をしてくれました。

オンライン募金  
「#あつまれ神奈川2025ハンド・イン・ハンド」  
(12/31まで)

昨年引き続き、日本ユニセフ協会のフレンドネーションのサイトにオンライン募金の窓口を設け、チラシやSNSなどで呼びかけを行いました。(募金者18名)

ご参加・ご協力いただいた皆様 ※敬称略・順不同

【街頭募金活動】■川崎会場：川崎市副市長、川崎市総務企画局、川崎市教育委員会、川崎市国際交流協会、生活協同組合パルシステム神奈川、生活協同組合ユーコープ、神奈川県生活協同組合連合会、ユニセフ支援市民団体ふれしびる、川崎フロンターレ・マスコット（ふろん太）、川崎新田ボクシングジム・マスコット（ショーブくん）、川崎市立渡田中学校、川崎市立南大師中学校、株式会社アゼリア ■相模原会場：相模原市長、相模原市市民局、相模原市教育長、相模原市教育委員会、神奈川県生活協同組合連合会、生活協同組合パルシステム神奈川、生活クラブ生活協同組合・神奈川、ボーイスカウト大和第6団ビーバー隊、ガールスカウト神奈川第30団、ガールスカウト神奈川第60団 ■平塚会場：神奈川県グローバル戦略担当部長、平塚市長、平塚市市長室、生活協同組合パルシステム神奈川、神奈川県生活協同組合連合会、平塚市立江陽中学校、平塚市立浜岳中学校、ガールスカウト神奈川第23団、ガールスカウト神奈川第20団 ■横浜会場：横浜市国際局グローバルネットワーク推進部長、俳優金田賢一様、一般社団法人F・マリノススポーツクラブ・マスコット（マリノスケ）、株式会社横浜フリースポーツクラブ、株式会社テレビ神奈川・マスコット（カナガワニ）、神奈川県生活協同組合連合会、生活協同組合パルシステム神奈川、生活協同組合ユーコープ、株式会社Y.S.C.C.・マスコット（ハマビィ）、富士ソフト株式会社、株式会社大川印刷、ガールスカウト神奈川第24団、よこはま子ども国際平和プログラム実行委員会、捜真女学校ユニセフ部、おおぞら高校横浜キャンパス ■各会場：神奈川県ユニセフ協会ボランティアの皆さん、一般ボランティア参加の皆さん ■静岡・山梨会場：生活協同組合ユーコープ【募金箱設置】井上漆器店、横濱文明堂、横浜ウィークリー、昭和堂本店、川本屋茶店、神人整形外科、大野電気商会

【協賛品提供】生活協同組合ユーコープ、生活協同組合パルシステム神奈川

学習  
支援ガールスカウトオータムスクールにて  
ユニセフ学習会を開催しました！

神奈川県ユニセフ協会では毎年秋にガールスカウト神奈川県連盟との共催で「ガールスカウト・オータムスクール」を開催しています。以前は「サマースクール」として、夏休みに開催していましたが、近年の猛暑や団体の繁忙期を避けるために秋開催となり、「オータムスクール」としては今年で3回目の開催となりました。

開催日当日は、ユニセフ学習支援講師ボランティアを中心に、ガールスカウトの皆さんにむけて学習会を開催。ユニセフ基礎学習や募金学習、体験学習、さらにはワークショップ「地球の食卓」を開催しました。食から見えるくらしの多様性、幸せの指標、くらしに直結しているゴミやエネルギーについて考えることを目的として、8つのグループに分かれて世界各国の食卓の風景画像を見比べ、グループでの話し合いや発表を行いました。

## 【前半 / 基礎学習と体験学習】

①ブラウニー（小学1～3年）の教室では、絵本「ユニセフとえがおのひみつ」の読み聞かせや厳しい環境下で暮らす子どもたちの状況を紹介する動画視聴、地球儀を使って紹介した国々を見つけたり、水がめ運びなどの体験を行いました。



絵本の読み聞かせ

②ジュニア（小学4～6年生）の教室では、世界の子どもたちの様子についてのお話や「世界がもし33人の村だったら」のワークやSDGsについて、募金の使われ方についてのお話や水がめ運び体験を行いました。



水がめ運び体験

③シニア & レンジャー（中高校生）の教室では、世界の子どもたちの人権、ユニセフ募金の意義についてのお話と、赤ちゃんの抱き比べ体験をしました。



赤ちゃん人形抱き比べ体験

## 【後半 / ワークショップ「地球の食卓」を開催】

8つのグループに分かれて、各国（アメリカ・エクアドル・ドイツ・クウェート）の家族の1週間の食事を写した写真を元に、気づいたことについての話し合いと発表をしてもらいました。また、アフリカのマリという国と日本の食卓の写真を見比べてもらい、気づいたことを話し合ってもらいました。

最後に、6つの国で1週間暮らすとしたらどこがいいか…暮らしてみたい順に並べてもらいました。写真を見ながら暮らしの多様性、文化、宗教、食、幸福、SDGsなどについて気づいてもらうワークとなりました。

## 【アンケートより】

- ・絵本を読んでいただき、実際に体験することで理解が深まったと思う。
- ・食卓の写真という素材から子どもたちが色々考えるための働きかけ、設問、声かけが効果的に組み立てられていると思った。
- ・画像もわかりやすくできていて、スカウトたちにも理解がしやすい。
- ・赤ちゃんの重さを体験して、よりリアルさが増した。



ワークショップ「地球の食卓」

今後も他団体との協力をすすめ、子どもたちの学習の機会を設けて行きたいと思えます。

## 【学校以外の団体からも学習会の依頼を受け付けています】

詳しくは、お気軽に当協会にご相談ください。または、当協会ホームページの専用サイトをご覧ください。  
<https://unicef-kanagawa.jp/school/dispatchrequest/>



# 活動報告

## 第53回神奈川ブロック大会厚木大会

日時：2025年9月6日（土）10：00～16：00

会場：厚木中央公園

ブース参加者：160名

募金額：734円

主催：公益社団法人日本青年会議所 関東地区 神奈川ブロック協議会

来場された子どもたちにSDGsのすごろくで楽しんでもらいながらSDGs「17の持続可能な開発目標」を知ってもらい取り組みを行いました。家族連れの参加者が多かったため、多くの子どもたちに楽しく参加してもらうことができました。



## 「シネマアース」チャリティ上映会

日時：2025年9月27日（土）13:30～15:30

会場：地球市民かながわプラザ2階映像ホール

募金額：12,000円

シネマアースは、「映画でつなぐ、地球の子どもたち」をテーマに立ち上げられた自主上映の会です。今回は映画「風がふくとき」を通して、世界の子どもたちへの理解と支援につなげたいとの趣旨で開催され、当協会でも後援を行いました。



## インターナショナルフェスティバルinカワサキ

日時：2025年11月9日（日）10：00～16：00

会場：川崎市国際交流センター

ブース来場者：548名

主催：インターナショナル・フェスティバル実行委員会

市内で国際交流に取り組んでいる団体等が日頃からの活動の成果を発表し、各種イベント等の開催を通じて、さまざまな立場の人がふれあいを深め相互理解と多文化共生を促進することを目的に開催されました。

当協会では、SDGsルーレットを使ってSDGsについて興味を持ってもらう取り組みを行いました。子どもたちは学校の授業で学んでいることもあり、当たり前のようにSDGsのことを知っていて、楽しそうにルーレットを回していました。



## ユニセフ学習支援活動（10月～2月）

世界の子どもたちの現状とユニセフの活動について、2,726名が学習に参加しました。

開催日	団体名	人数	テーマ
10/5	ガールスカウト 神奈川県連盟	78	ユニセフ基礎学習、募金学習、体験学習「地球の食卓」
10/21	横浜市立六ツ川中学校	420	ユニセフ基礎学習 / 子どもの権利条約 / SDGsについて
10/24	横浜市立子安小学校	34	ユニセフ基礎学習 / 世界がもし33人の村だったら
11/5	横浜市立鶴志田緑小学校	75	ユニセフ基礎学習 / 子どもの権利条約 / SDGsについて
11/17	横浜市立西谷中学校	665	ユニセフ基礎学習 / 体験学習
11/21	生活協同組合ユーコープ やまなし県本部	15	ユニセフ基礎学習 / 街頭募金活動に向けての学習
11/21	三浦市立旭小学校	23	ユニセフ基礎学習 / 体験学習
11/27	茅ヶ崎市立赤羽根中学校	31	ユニセフ基礎学習 / ワークショップ
11/28	横浜市立末吉中学校	308	ユニセフ基礎学習
12/2	横浜市立藤の木小学校	83	ユニセフ基礎学習 / 動画視聴
12/5	横浜市立港南台第二小学校	51	ユニセフ基礎学習 / 緊急支援・気候変動
12/9	横浜市立末吉中学校	304	ユニセフ基礎学習 / 体験【富の配分】【人形抱き比べ】
12/10	おおぞら高校 横浜キャンパス	6	ユニセフ基礎学習 / 体験学習 / ワークショップ
12/22	綾瀬市立綾北中学校	205	ユニセフ基礎学習 / SDGs・国際理解について
12/22	横浜市立荏田東 第一小学校	29	ユニセフ基礎学習 / 世界がもし28人の村だったら
1/7	横浜女学院中学校	3	ユニセフ基礎学習 / 日本ユニセフ協会ホームページ案内
1/23	横浜市立不動丸小学校	31	ユニセフ基礎学習 / ユニセフと地球の子どもたち
1/27	日本大学三島高等学校・ 中学校	8	ユニセフ基礎学習 / SDGs貧困について
1/27	横浜市立境木中学校	132	ユニセフ基礎学習 / 「すべての子どもに〇〇を」記入、発表
1/28	平塚市立浜岳中学校	224	ユニセフ基礎学習 / 途上国の子どもたち
2/25	神奈川県立 厩間総合高等学校	1	ユニセフ基礎学習 / 栄養と食事



## ユニセフ写真展（10月～2月）

「ガーナ指定募金」などユニセフの支援内容をお知らせするパネル展を各地で開催しました。

### 開催報告

開催期間	場所
10月6日（月）～14日（火）	男女共同参画センター横浜北（アートフォーラムあざみ野）
10月7日（火）～30日（木）	男女共同参画センター横浜（フォーラム）
12月12日（金）～23日（火）	男女共同参画センター横浜南（フォーラム南太田）



# 募金報告

ご協力  
ありがとうございました

さまざまな取り組みの結果、70,482,830円の募金をお寄せいただくことができました。（2025年1月から12月集計） 【ご協力企業・団体】順不同

**合計 70,482,830円**

## 一般募金 29,039,328円

横浜ウィークリー(株)、しんわ本人自治会連合会、(一社)国際空手道連盟極真会館総本部、鴨志田緑小学校、上山小学校、学校法人横浜女学院高等学校、レア形成外科・美容皮膚科、赤岡綾子歌の祭典コンサート、医療法人メディスタイル、生活協同組合うらがCO-OP、ボーイスカウト横浜第131団、伊勢原市教育委員会、日揮ホールディングス(株)、(私)横浜市医師会聖灯看護専門学校、ボーイスカウト川崎第53団、ガールスカウト神奈川県第57団、ガールスカウト神奈川県第102団、ガールスカウト神奈川県第95団、生活協同組合ユーコープしずおか県本部、(私)横浜女学院中学校、(株)大川印刷、ガールスカウト神奈川県第9団、生活協同組合ユーコープやまなし県本部、(株)高島屋横浜店、生活協同組合ユーコープ、神奈川県空手道連盟

## ガーナ指定募金 20,078,182円

生活協同組合うらがCO-OP、生活クラブ生活協同組合・神奈川、生活協同組合ユーコープ、横浜ウィークリー(株)、(一社)ガールスカウト神奈川県連盟、(社福)進和学園、生活協同組合パルシステム神奈川、全日本海員生活協同組合、富士フィルム生活協同組合

## ガザ人道危機緊急募金 200,704円

シネマアース、レディスヨガサークル、厚木高等学校

## ミャンマー地震緊急募金 12,502,046円

横浜市国際学生会館、生活協同組合ユーコープ、富士フィルム生活協同組合

## 自然災害緊急募金 8,341,299円

生活協同組合ユーコープ

## ウクライナ緊急募金 212,586円

(公財)川崎市国際交流協会、深見小学校6年ウクライナグループ、厚木高等学校

## 支援ギフト 108,685円

柿生小学校6年4組



第2回全日本極真「型」空手道選手権大会様



横浜ウィークリーマンション様



社会福祉法人 進和学園様・しんわ本人自治会連合会様

## 「ユニセフかながわパートナーズ」で神奈川県ユニセフ協会の活動をご支援ください

### ◆ユニセフかながわパートナーズとは

神奈川県ユニセフ協会は、多くの個人・団体・企業の皆さまのご協力に支えられて活動しています。ご協力いただく方法は、募金のほかに、ボランティアスタッフとして活動する、ユニセフ学習を行う、広報の場や機会を提供するなど、実にさまざまです。その中でも「ユニセフかながわパートナーズ」は、当協会の地域に根ざしたユニセフ支援を広げる趣旨に賛同いただき、賛助会費によって運営と活動を支える方法です。

### ◆会員の種類と年会費

種類	年会費	口数
個人	2,000円/1口	1口以上
企業・団体	2,000円/1口	5口以上

### ◆特典

- ・機関誌「かながわニュースレター」（年2回発行）
- ・年次報告書（年1回発行）
- ・「unicef news」
- ・イベント・セミナー等のご案内

### ◆お問い合わせ

- ・当協会事務局へお問い合わせください  
(TEL 045-334-8950)



# 参加者募集!

## 第17回 ユニセフ・ラブウォーク in かわさき

いい汗かいて国際協力! 個人でも家族でも気軽に参加できるウォーキングイベント。参加費が世界の子どもたちを支援するための募金となります。ユニセフ紙しばい、水がめ運び体験、芝生deヨガなどの楽しい企画もあります。

開催日時: 5月17日(日)(雨天中止)  
10:00~11:00 受付(随時スタート)  
12:30 終了

会場: 生田緑地(川崎市)

参加費: 大人500円、子ども(18歳未満)200円  
(全額ユニセフ募金となります)

申込受付: 4月1日(水)~5月8日(金)(事前申し込みが必要)

申込方法: 神奈川県ユニセフ協会のHP/  
QRコードから→  
または電話045-334-8950  
(月~金10時~17時)



## 第7回 神奈川県ユニセフ協会チャリティゴルフ大会

楽しみながら参加できる国際協力活動です。参加費の一部がユニセフ募金となります。

開催日: 9月11日(金)(荒天の場合中止)

会場: 小田原湯本カントリークラブ

参加費: 1人/3,000円(ユニセフ募金と参加賞代)

プレー費: 1人/10,000円(セルフプレー・昼食代を含む)

募集人数: 20組80名程度

スタート: 8:00~OUT/IN同時スタート

申込締切: 7月31日(金)

申込方法: 神奈川県ユニセフ協会のHP/  
QRコードから→  
または電話045-334-8950  
(月~金10時~17時)



## 『外国コイン、書き損じはがき』募集!

不要になった外国コインと紙幣、書き損じてしまったはがき、未使用のはがきや切手がお家に眠っていませんか?

お寄せいただきましたら、ユニセフ募金になり世界の子どもたちのために役立てることができます。

外国コインは、日本ユニセフ協会に取りまとめてから各国に送り、募金になります。

書き損じはがきは、当協会です分けを行い郵便局で切手に交換、買い取り業者にて換金し募金になります。郵送または宅急便で神奈川県ユニセフ協会へお送りください。その際の送料はご負担をお願いします。

また、企業や団体、学校でユニセフ外国コイン募金へのご協力を呼びかけていただいています。

『呼びかけやすく、誰もが気軽に参加できるボランティア活動』としてご検討ください。



## 事務局だより

当協会では「ガーナの児童婚を終わらせる指定募金」に取り組んでいます。先日、ガーナ駐在の吉川さんによる現地報告会を開催しました(報告会の内容は、本誌に掲載しました)。現地ですべてに携わっている吉川さんの言葉は何よりもリアルで、いまの現状がダイレクトに伝わってきました。これまではレポートなどからの情報でしたが、タイムラグがあれば、文字を追うだけではわからない、切実で悲惨な現状であること、いま必要なことは何かなど、生の声を聞く事は大切だと改めて思いました。これからスタディツアーもあり、報告会も予定していますので、その際はみなさんぜひ参加して生の報告を聞いて下さい。すべての子どもが、心から笑って幸せに暮らせる平和な世界になりますように。今後ともご協力よろしくお願いいたします。(渡邊)

※イベントで閉所の場合もありますので、当協会にお越しの際は、お電話にて開所をご確認の上お越しくださいますようお願いいたします。



神奈川県ユニセフ協会

[www.unicef-kanagawa.jp](http://www.unicef-kanagawa.jp)

TEL 045-334-8950

FAX 045-334-8951

E-MAIL [info@unicef-kanagawa.jp](mailto:info@unicef-kanagawa.jp)

〒231-0063 横浜市中区花咲町2丁目57 ミシナビル201号

JR/横浜市営地下鉄ブルーライン「桜木町」駅から徒歩3分

行き方: 野毛ちかみち(地下道)を通り、「南1番」を出て直進し「横浜にぎわい座」の手前を右折してすぐのビルです